## 令和6年度

# 仙台市高速鉄道事業会計決算の大要

仙台市交通局

#### 令和6年度仙台市高速鉄道事業の概況と決算の大要

#### 1 事業の概況

本年度の高速鉄道事業は、乗車料収入については、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準以上に回復する一方で、電力価格等の高騰が続く厳しい経営状況のなか、「仙台市交通事業経営計画」の4つの戦略「安全・安心の推進」、「快適なお客さまサービスの提供」、「まちづくりへの貢献」、「持続可能な経営の確保」に基づき、各種取組みを進めてまいりました。

施設設備の計画的な維持更新の取組みとして、南北線において、令和6年10月に新型車両の1編成目の営業運転を開始したほか、老朽化した電力管理システム等の更新を実施しました。また、危機・自然災害への対応の取組みとして、大地震の発生を想定した防災訓練や、弾道ミサイルの飛来を想定した避難訓練を実施しました。

利用しやすい環境整備の取組みとして、前年度に引き続きホームと車両の隙間縮小事業を進めたほか、新紙幣に対応するため、駅構内にある券売機及び精算機の更新を進めるなど利便性の向上に努めました。

公共交通の利用促進の取組みとして、家族連れの利用喚起等を目的とした小児運賃無料化の実証実験を実施したほか、「東北絆まつり 2024 仙台」等の大型イベントの開催に合わせ、「仙台 MaaS」にて地下鉄両線を低廉に利用できる地下鉄 24 時間券・36 時間券を販売しました。

経営の健全化の取組みとして、20駅における駅業務委託を継続したことに加え、令和7年度からの南北線における駅業務委託の対象駅の追加に向けた準備を行ったほか、近年の経営環境の変化を踏まえた新たな交通事業経営計画の策定に向け、引き続き検討を進めました。

本年度における運輸成績は.	<b>炒丰のしおりでなります</b>
本子尽にわける事期が領は、	水衣切とわりじめります。

区 5	分	令和6年度	令和5年度	比	較
	))	7/11/0 千度	7/11/0 千/支	増 減 ( △減 )	比率(%)
在籍車両数(	両 )	148	144	4	102.8
実 働 車 両 数 平	三日	120	120	0	100.0
( 両 ) 土	:休日	72	72	0	100.0
走行キロメートル (=	千km)	11, 466	11, 776	△ 310	97. 4
乗 車 人 員 (=	千人)	93, 233	90, 136	3, 097	103. 4
定期外		40, 845	40, 115	730	101.8
定期		52, 388	50, 021	2, 367	104. 7
乗車料収入(=	千円)	15, 976, 388	15, 500, 701	475, 687	103. 1
定期外		9, 113, 364	8, 937, 148	176, 216	102. 0
定期		6, 863, 024	6, 563, 553	299, 471	104. 6

(注)乗車料収入は、消費税及び地方消費税抜きの額であり、敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証 負担金を含む。

#### 2 決 算 の 大 要

本年度は、前年度に比較して新型コロナウイルス感染症の影響からの回復により、乗車人員が 3.4 パーセントの増となり、乗車料収入も 3.1 パーセントの増となりました。また、収益的収支については 279,426 千円改善し、473,126 千円の純損失となりました。

この結果, 当年度未処理欠損金は98,612,854千円となっております。

#### (1) 収益的収入及び支出

収 益 的 収 入

(単位 千円)

	T				(去)(二 1 1 1 )
	予	算	額		4-4 241
科目	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	増 減 (△減)
高速鉄道事業収益	23, 178, 875	102, 874	23, 281, 749	23, 068, 859	△ 212,890
営 業 収 益	19, 107, 348	102,874	19, 210, 222	18, 905, 003	△ 305, 219
運輸収益	17, 501, 644	102, 874	17, 604, 518	17, 452, 196	△ 152, 322
運輸雑収益	1, 605, 704	0	1, 605, 704	1, 452, 807	△ 152, 897
営 業 外 収 益	4, 069, 744	0	4, 069, 744	4, 163, 072	93, 328
受 取 利 息 及 び 配 当 金	422	0	422	1, 940	1, 518
他会計補助金	212, 653	0	212, 653	204, 052	△ 8,601
長期前受金戻入	3, 817, 575	0	3, 817, 575	3, 811, 535	△ 6,040
雑 収 益	39, 094	0	39, 094	145, 545	106, 451
特 別 利 益	1, 783	0	1, 783	784	△ 999
過 年 度 損 益 修 正 益	1,000	0	1,000	0	△ 1,000
その他特別利益	783	0	783	784	1

(注) 収益的収入は、消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入予算は,当初 23,178,875 千円を計上いたしましたが,営業収益 102,874 千円を増額 補正いたしましたので,最終予算額は 23,281,749 千円となりました。

これに対する決算額は23,068,859千円となり,予算額に比べ212,890千円の減収となりました。

#### 収 益 的 支 出

(単位 千円)

											(単位 下門)
	区	分		予		算		額			
科目			当初予算額		E予算額 △ 減 )	予備費 支出額		用増減額 △ 減)	計	決 算 額	不 用 額
高速銀	失道 事業	費用	24, 607, 546	Δ	631, 619	0		0	23, 975, 927	23, 118, 093	857, 834
営	業費	用	22, 899, 212	Δ	730, 964	0	Δ	3, 837	22, 164, 411	21, 357, 584	806, 827
線	路保存	字 費	2, 920, 787	Δ	164, 086	0	Δ	3, 837	2, 752, 864	2, 506, 089	246, 775
電	路保ィ	字 費	2, 044, 904	Δ	88, 604	0		0	1, 956, 300	1, 860, 657	95, 643
車	両 保 7	字 費	1, 363, 851	Δ	38, 000	0		0	1, 325, 851	1, 183, 256	142, 595
運	転	費	2, 186, 358	Δ	154, 704	0		0	2, 031, 654	1, 941, 882	89, 772
運	輸	費	3, 593, 508	Δ	235, 076	0		0	3, 358, 432	3, 234, 997	123, 435
運	輸 管 耳	里費	968, 066		0	0		0	968, 066	937, 468	30, 598
厚	生福利施	設 費	21, 428		0	0		0	21, 428	17, 888	3, 540
_	般管耳	里費	494, 950	Δ	50, 494	0		0	444, 456	410, 813	33, 643
減	価 償 彗	却 費	9, 305, 360		0	0		0	9, 305, 360	9, 264, 534	40, 826
営	業外費	東 用	1, 657, 334		99, 345	0		3, 837	1, 760, 516	1, 760, 509	7
	払 利 息 業債 取扱		1, 406, 956		49, 000	0	Δ	74, 437	1, 283, 519	1, 283, 514	5
消 地		及び 費税	249, 378		148, 345	0		79, 241	476, 964	476, 963	1
雑	支	出	1,000		0	0	Δ	967	33	32	1
特	別 損	失	1,000		0	0		0	1, 000	0	1, 000
過 修	年 度 技正	<sub>員</sub> 益 損	1,000		0	0		0	1,000	0	1,000
予	備	費	50,000		0	0		0	50, 000	0	50,000
予	備	費	50,000		0	0		0	50, 000	0	50,000

- (注) 1 収益的支出は、消費税及び地方消費税込みの額である。
  - 2 営業外費用中の支払利息及び企業債取扱諸費の財源に充てるため、資本費負担緩和分企業債 511,000 千円を借り入れた。

収益的支出予算は,当初 24,607,546 千円を計上いたしましたが,営業外費用 99,345 千円を増額補正し,営業費用 730,964 千円を減額補正いたしましたので,最終予算額は 23,975,927 千円となりました。

これに対する決算額は 23, 118, 093 千円(人件費 4, 072, 566 千円, 経費 8, 020, 484 千円, 減価償却費 9, 264, 534 千円, 営業外費用 1, 760, 509 千円) となり、不用額は 857, 834 千円となりました。

#### (2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

						(七匹 111)
11		予 算	額			4-4 241
区 分科 目	当初予算額	補正予算額 (△減)	繰 越 額	計	決 算 額	増 減 (△減)
高速鉄道事業資本的収入	9, 615, 716	△ 127, 820	15, 000	9, 502, 896	8, 017, 523	△ 1, 485, 373
企 業 債	8, 085, 000	△ 103,000	12,000	7, 994, 000	6, 822, 000	△ 1, 172, 000
出 資 金	1, 252, 000	△ 25,000	3, 000	1, 230, 000	928, 000	△ 302, 000
他会計補助金	117, 367	0	0	117, 367	114, 117	△ 3, 250
国 庫 補 助 金	0	180	0	180	41	△ 139
その他資本的収入	161, 349	0	0	161, 349	153, 365	△ 7, 984

(注) 資本的収入は、消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入予算は、当初 9,615,716 千円を計上いたしましたが、国庫補助金 180 千円を増額補正 し、企業債 103,000 千円、出資金 25,000 千円をそれぞれ減額補正いたしましたので、最終予算額 は前年度繰越額 15,000 千円を含め 9,502,896 千円となりました。

これに対する決算額は8,017,523千円となり,予算額に比べ1,485,373千円の減収となりました。

#### 資 本 的 支 出

(単位 千円)

<u></u>									(単	位 十円)
K	分		予		算	額	_		羽年中	
科目		当初予算額	補正予算額 (△減)	予備費 支出額	流用増減額	繰 越 額	計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
高速鉄道	事 業 出	16, 322, 346	△ 128, 226	0	0	15, 004	16, 209, 124	14, 732, 732	960, 632	515, 760
建設改具	曳 費	6, 439, 867	△ 128, 226	0	0	15, 004	6, 326, 645	4, 880, 366	960, 632	485, 647
土	地	1, 400	0	0	0	0	1, 400	0	0	1, 400
建	物	926, 175	△ 128, 226	0	0	0	797, 949	676, 728	0	121, 221
線路設	横	1, 512	0	0	0	0	1, 512	1, 482	0	30
電 路 設	備	1, 671, 521	0	0	0	0	1, 671, 521	1, 409, 714	9, 992	251, 815
車	両	948, 196	0	0	0	0	948, 196	936, 626	0	11, 570
機 械 装	置	2, 654, 070	0	0	0	15, 004	2, 669, 074	1, 708, 605	919, 808	40, 661
工 具 · 器 備	具 · 品	35, 233	0	0	0	0	35, 233	31, 608	0	3, 625
施設利	用権	30, 832	0	0	0	0	30, 832	0	30, 832	0
そ の 無形固定	他 資 産	634	0	0	0	0	634	634	0	0
建設諸	費	168, 214	0	0	0	0	168, 214	112, 931	0	55, 283
受 託 工	事 費	2, 080	0	0	0	0	2, 080	2, 038	0	42
企業債償	還 金	9, 852, 369	0	0	0	0	9, 852, 369	9, 852, 366	0	3
企業債償	還 金	9, 852, 369	0	0	0	0	9, 852, 369	9, 852, 366	0	3
投	資	100	0	0	0	0	100	0	0	100
その他	投 資	100	0	0	0	0	100	0	0	100
その他資本的	<b>う支出</b>	10	0	0	0	0	10	0	0	10
その他資本的	的支出	10	0	0	0	0	10	0	0	10
予 備	費	30, 000	0	0	0	0	30, 000	0	0	30,000
予 備	費	30,000	0	0	0	0	30, 000	0	0	30,000

(注)資本的支出は、消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出予算は、当初 16,322,346 千円を計上いたしましたが、建設改良費 128,226 千円を減額補正いたしましたので、最終予算額は前年度繰越額 15,004 千円を含め 16,209,124 千円となりました。

これに対する決算額は14,732,732千円となり,建設改良費960,632千円を翌年度へ繰り越しましたので, 不用額は515,760千円となりました。

また,資本的収入額が資本的支出額に不足する額6,715,209 千円は,当年度分消費税及び地方消費税資本 的収支調整額419,654 千円及び当年度分損益勘定留保資金4,663,106 千円で補てんし,なお不足する額 1,632,449 千円については,一時借入金等をもって措置いたしました。

### (3) 損 益 計 算 書

#### 比 較 損 益 計 算 書

(単位 千円)

費	用	0	部	収	益	Ø	部
区分科目	令和6年度	令和5年度	増 減 (△減)	区分 科目	令和6年度	令和5年度	増 減 (△減)
営業費用	20, 654, 527	20, 478, 857	175, 670	営業収益	17, 313, 947	16, 866, 257	447, 690
営業外費用	1, 283, 797	1, 346, 719	△ 62, 922	営業外収益	4, 150, 467	4, 212, 377	△ 61,910
特別損失	0	7, 591	△ 7, 591	特別利益	784	1, 981	△ 1, 197
				小 計 当 年 度 純 損 失	21, 465, 198 473, 126	21, 080, 615 752, 552	384, 583 △ 279, 426
計	21, 938, 324	21, 833, 167	105, 157	計	21, 938, 324	21, 833, 167	105, 157

(注) 損益計算書は、消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 21,465,198 千円で,前年度に比較して 384,583 千円増加しておりますが,これは乗車料収入の増等による営業収益の増 447,690 千円,長期前受金戻入の減等による営業外収益の減 61,910 千円,過年度損益修正益の皆減等による特別利益の減 1,197 千円によるものです。

また,総費用は21,938,324 千円で,前年度に比較して105,157 千円増加しておりますが,これは人件費の増等による営業費用の増175,670 千円,支払利息の減等による営業外費用の減62,922 千円,過年度損益修正損の皆減による特別損失の減7,591 千円によるものです。

以上により、当年度は473,126千円の純損失となりました。

#### (4) 剰余金計算書及び欠損金処理計算書

資本剰余金については、当年度発生高はなく、当年度末残高は4,825,779 千円となりました。 欠損金については、前年度未処理欠損金は98,139,728 千円であり、前年度欠損金処理額はなく、 当年度は純損失473,126 千円を計上いたしましたので、当年度未処理欠損金は98,612,854 千円となりました。

なお、欠損金処理額はなく、そのまま翌年度へ繰り越しております。

### (5) 貸 借 対 照 表

#### 比 較 貸 借 対 照 表

(単位 千円)

資	産	Ø	部	負	債 •	資 本 の	部
区分科目	令和6年度	令和5年度	増 減 (△減)	区分科目	令和6年度	令和5年度	増 減 (△減)
固定資産	233, 681, 362	238, 716, 210	△ 5, 034, 848	固定負債	115, 281, 186	118, 660, 075	△ 3, 378, 889
流動資産	6, 191, 692	5, 491, 004	700, 688	流動負債	18, 281, 248	16, 137, 028	2, 144, 220
				繰延収益	99, 753, 206	103, 307, 571	$\triangle$ 3, 554, 365
				資 本 金	100, 344, 489	99, 416, 489	928, 000
				剰 余 金	△ 93, 787, 075	△ 93, 313, 949	△ 473, 126
計	239, 873, 054	244, 207, 214	△ 4, 334, 160	計	239, 873, 054	244, 207, 214	△ 4, 334, 160

#### (注) 貸借対照表は、消費税及び地方消費税抜きの額である。

資産については、前年度 244, 207, 214 千円に比較して 4, 334, 160 千円減少しておりますが、これは減価償却等による固定資産の減 5, 034, 848 千円と現金及び預金の増等による流動資産の増 700, 688 千円によるものです。

なお、用地の内訳につきましては別表のとおりであります。

負債・資本においても前年度に比較して 4,334,160 千円の減少となっております。固定負債は企業債の減等により 3,378,889 千円の減,流動負債は企業債の増等により 2,144,220 千円の増,繰延収益は長期前受金の減等により 3,554,365 千円の減,資本金は一般会計からの出資により 928,000 千円の増,剰余金は当年度純損失の計上により 473,126 千円の減となりました。

以上が、令和6年度仙台市高速鉄道事業会計決算の大要であります。

### 用地内訳表

令和7年3月31日現在

	区	分		所	在	面 積 (㎡)	帳簿価額(千円)	使用目的	備考
線路停	南	北	線	仙台市太白区富沢一丁目2 仙台市泉区七北田字真美 仙台市泉区八乙女中央二 仙台市若林区清水小路3-5	尺162-20外 厂目23-1外	3, 174 2, 151 20, 030 17, 335	178, 413 70, 096 1, 269, 309 2, 419, 426	線路 線路 線路 駅舎,換気口 ほか	
車				/]\	計	42, 690	3, 937, 244		
平場	東	西	線	仙台市若林区荒井字東21- 仙台市若林区荒井字東13-		1, 726 16, 765	87, 566 2, 510, 073	線路 駅舎,換気口 ほか	
用				小	計	18, 491	2, 597, 639		
地				計		61, 181	6, 534, 883		
変	南	北	線	仙台市太白区長町南三丁  仙台市若林区土樋295-2外 仙台市青葉区堤通雨宮町1		1,000 718 597	97, 482 74, 869 224, 160	長町南 土樋 北仙台	
電				小	計	2, 315	396, 511		
所用	東	西	線	仙台市若林区卸町二丁目1 仙台市青葉区荒巻字青葉6	-59外 -26外	835 598	84, 530 32, 872	卸町 青葉山	
地				小	計	1, 433	117, 402		
地				計		3, 748	513, 913		
車庫	南	北	線	仙台市太白区富沢字松山7 仙台市太白区富沢字中河原仙台市太白区富沢字外河原仙台市太白区富沢字外河原	泵2−1 泵14−4	41, 067 33, 343 8, 648 6, 163	1, 396, 689 1, 162, 812 293, 947 252, 104	富沢車両基地 富沢車両基地 富沢車両基地 富沢車両基地 (引込線)	
•				小	計	89, 221	3, 105, 552		
工場	東	西	線	仙台市若林区荒井字沓形1 仙台市若林区荒井字東13- 仙台市若林区荒井字南原时 仙台市若林区荒井字矢取到 仙台市若林区荒井字摄易1	2外 日32-3外 <b></b> 10外	24, 604 1, 391 5, 073 24, 487 10, 655	609, 824 42, 583 128, 128 683, 772 318, 825	荒井車両基地 荒井車両基地 荒井車両基地 荒井車両基地 荒井車両基地 (引込線)	
用				<b>/</b> \	計	66, 210	1, 783, 132		
地				計		155, 431	4, 888, 684		
<b>#</b>	1 孩 7	斤用 均	Hı	仙台市青葉区木町通一丁目	目111-1外	2, 797	1, 372, 189	局庁舎	
寻	〒4 <del>万</del> 戊	и <i>I</i> П И	Ľ.	計		2, 797	1, 372, 189		
その他田	南	北	線	仙台市太白区長町南四丁 仙台市泉区黒松三丁目1-8		6, 040 10, 710	323, 493 394, 232		
用地		_		計		16, 750	717, 725		
			合		計	239, 907	14, 027, 394		